



ごあいさつ

福島県会津美里町長

渡部 英敏

会津美里町第一次振興計画の策定にあたり一言御挨拶申し上げます。

昨今の社会経済環境は、ようやく明るさの兆しは見えるものの、地方への波及は少なく、またその持続性も不安視されている状況下にあって、少子高齢化の一層の進展、地方分権や三位一体の改革の推進など、地方財政にとっては大きな変革期を迎えております。

このため、昨年10月1日に行財政運営の一層の効率化を図り、住民と行政の協働のもとに、行政サービスの維持向上と、魅力と活力ある地域を創造するため、会津高田町、会津本郷町、新鶴村は合併をいたしました。

新しいまちづくりを進めていくにあたり、時代背景を的確に捉えつつ、様々な課題に対応し、三地域が持つそれぞれの特徴を活かしながら、戦略性をもった行政運営の基本方針となる「会津美里町第一次振興計画」を策定しました。

本計画では、「清流と文化」を発信する創造のまちづくり、「人と環境」を重視するやさしいまちづくり、「自立できる自治体経営」を基本とした自立できるまちづくり、「参画と協働」を尊重する地域主権のまちづくりの4つの基本方向を定め、「会津文化の源流」としての特性を最大限に活かしながら、住民と行政がそれぞれ主体的に取り組むことによる「人が輝き」、そして住む人や働く人の「夢が広がる」、生活しやすく魅力的な人と環境にやさしい「環境共生」の会津美里町の実現を目指しております。

また、本計画の推進にあたりましては、大きな時代の潮流をしっかりと見据えて、固定的な観念にとらわれることなく、自らの果たすべき役割と責任を自覚し、将来像の実現に向けて邁進する所存であります。

むすびに、本計画の策定にあたり、振興計画審議会委員及び地域審議会委員の方々をはじめ、貴重なご意見をいただきました多くの住民の皆様から心から感謝申し上げますとともに、本計画の実現に向け住民の皆様をはじめ、国・県・関係団体等の皆様により一層の御支援、御協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。